



プレスリリース

トゥールーズ、2022年5月20日

ラグビーワールドカップ 2023 日本代表チームのベースキャンプ地がトゥールーズに決定 オクシタニー地域圏が歓迎

ついに決定しました。日本代表チームがトゥールーズで2試合を行うとの発表の後、そのベースキャンプがどこになるのかに注目が集まっていた。ラグビー日本チームの一行が荷を降ろす場所はオクシタニー地方、トゥールーズに決定しました。ここで日本チームは世界の屈強たちと戦うのです。

オクシタニー地域圏議長の**キャロル・デルガは、日本チームの受入れを心から歓迎し**、次のコメントを発表しました。「日本との連携は、わが地方の国際案件の中でも最優先事項のひとつとして扱っており、私はこれまで3回の訪日ミッションを組んできました。この決定は偶然ではありません。とくに私が力を入れてきた日本とオクシタニーの連携は、観光はもちろん、経済、文化、教育、研究、そしてスポーツ分野も含まれます。そのよう背景の中、2023年にラグビー日本代表がトゥールーズに来て下さるのは、オクシタニーにとって大きな喜びです。日本チームはワールドカップというラグビーの世界的な祝祭の間、トゥールーズで2試合を戦い、わが地方が心から愛するスポーツ、すべての村とすべての世代を結び付けるスポーツであるラグビーを楽しませてくれることでしょう」。

日本代表チームは名門ラグビークラブ「スタッド・トゥールーザン」のホームスタジアムである「エルネスト・ワロン」の施設を使うこととなります。スタッド・トゥールーザンは1907年に設立され、フランスで最も多くのタイトルを獲得するプロクラブです。フランス選手権で21回優勝、ヨーロッパチャンピオンズカップで5回優勝を遂げ、双方の選手権で最多優勝を誇ります。

キャロル・デルガ議長は次のように続けます。「オクシタニー地域圏はラグビーワールドカップの開催地となり、ベースキャンプに選ばれるために努力してまいりました。日本チームの2つの試合が行われ、さらにベースキャンプも置かれることで、オクシタニーはフランスの中で最も日本度が高い地域となります」。

ワールドカップは、地域の魅力をプロモーションし、大型スポーツイベントの準備と開催を通じて地域の技術力をアピールできる絶好の機会です。オクシタニーでラグビーとは、初心者からトップアスリートに至るまで、まさにひとつのカルチャーとして捉えられており、地域全体にそれが行きわたっています。ラグビーにはチーム精神や自己の限界突破という意義がありますが、さらには連帯や仲間との楽しいひと時、集いといった意義もあります。オクシタニーはとくに「第3ハーフ」と言われる習慣を大事にします。それは試合後に敵味方なく杯を交わす時間のことを指しますが、オクシタニーならではの歓待や友愛の精神に触れ、地元が誇る美酒、偉大なシェフたちによる南仏の郷土料理が楽しめる機会でもあります。ぜひ旅行者もこの精神を楽しみ、さらに旅の中で多彩な「メイドイン・オクシタニー」の製品に触れていただければ幸いです。わが地方の特産品にはライヨール (Laguiolle) のナイフ、マルト・トロザーヌ (Martres-Tolosane) の陶器、アンデューズ (Anduze) の植木鉢、16世紀にニーム (Nîmes) で生まれたデニム地のジーンズなどがありますから」。

地域圏副議長（スポーツ担当）カメル・シブリのコメント

「私は前回のワールドカップで東京に赴き、日本代表チームの選手とそのサポーターのエネルギーに圧倒されました。彼らをフランスのワールドカップにお招きできるのはたいへん名誉なことです。彼らはオクシタニーの中心部に迎えられる訳ですが、それはフランスで最もラグビーが盛んな地に迎えられることを意味します。オクシタニーはラグビーの選手登録者数が約 7 万人、クラブの数が約 430 とフランスで最も多いからです。日本のファンの方々には日本代表と共に、スポーツに情熱をかけるわが地方、日本と日々関わり合いながら動いているわが地方について知っていただければと思います。オクシタニーには日本企業 28 社が進出しており、彼らが真っ先に情熱的なサポーターになることでしょう。日本代表チームをトゥールーズ、そしてオクシタニー地域圏へお迎えできるのを非常に光栄に感じています」。

オクシタニー地域圏とは

南ヨーロッパの中心に位置するオクシタニーはフランスで 2 番目に広い地域圏で、人口は 600 万人。ピレネー山脈から地中海、タルン峡谷、ドルドーニュ川流域が広がり、その風景と気候は多様性に富んでいます。

オクシタニーは既に日本で知られる名所も数多く、カルカソンヌ、ポン・デュ・ガール、サン・シル・ラポピー、アルビ、ルルド、ニームのような観光地のほか、トゥールーズ、モンペリエ、ベルピニャンといった活気ある都市、トゥールーズ・ロートレック、ピエール・スーラージュなどオクシタニー出身画家の大型美術館があります。

トゥールーズはオクシタニーの中心都市で、活気と魅力に溢れています。エアバス社の組立て工場、宇宙技術産業で有名です。学生が多く若者の都市である一方、歴史地区には美しき建築遺産、穏やかな雰囲気も広がり、トゥールーズ住民の明るい気質も魅力です。トゥールーズはまた、航空郵便が開拓された場所であり、作家兼パイロットであったサン・テグジュペリに大きな影響を与えています。

ワールドカップという世界イベントの開催によって、スポーツ分野におけるオクシタニー地方のダイナミズムが証明されることでしょう。オクシタニーは今年 3 月に世界フィギュアスケート選手権をモンペリエで開催したばかり。さらに、世界的に有名なサイクルレース、ツール・ド・フランスでは毎年、当地方にあるピレネーの名峰を幾つも通過するステージが設けられます。

オクシタニー地域圏はさらに、複合スポーツ施設の整備に大きく投資し、高次元のアスリートが国際大会に備えて最良の環境で調整できるような場所を整えています。パフォーマンス向上のためのトレーニング地として世界的に知られる、ピレネー山地のフォン・ロムー国立高地トレーニングセンター（Centre National d'Entrainement en Altitude de Font-Romeu）には毎年フランス内外から選手団が訪れており、日本の各スポーツ連盟とも連携しています。



©Philippe Grollier

キャロル・デルガ
オクシタニー地域圏議長



© Boutonnet L. - Darnaud A. -
Région Occitanie

カメル・シブリ
同スポーツ担当副議長



© Grimault Emmanuel - Région Occitanie

スタッド・トゥールーズのホームスタジアム、
エルネスト・ワロン



©Boutonnet Laurent - Région Occitanie
 オクシタニーでは小さな頃からラグビーに親しむ



©Viet Dominique - CRT Occitanie
 スタッド・トゥールーズが国内リーグで優勝すると、クラブはキャピトル広場に凱旋し、市民に優勝盾（プレニユス盾）を披露する



©Carbonnel François - Région Occitanie
 オクシタニーはラグビーの強豪地域。トゥールーズの地元クラブ、スタッド・トゥールーズが国内リーグ優勝し盛り上がる市民たち（2019）



©D.Viet - CRT Occitanie
 オクシタニーでは郷土料理カスレをぜひ味わいたい



© D.Viet - CRT Occitanie
 レンガ造りの街並みから「バラ色の街」と呼ばれるトゥールーズ



© Thebault - CRT Occitanie
 トゥールーズ、ガロンヌ川のほとり



©Thebault - CRT Occitanie
 トゥールーズではエアバスの組立工場が見学できる



© Cité de l'Espace
 宇宙博物館シテ・ド・レスパスはトゥールーズの人気観光地



© C.DESCHAMPS - CRT Occitanie
 オクシタニーは広大なエリアゆえに個性の異なるワイン産地を多く持つ

■ **当リリースのお問合せ：**

フランス観光開発機構 日本事務所:

Atout France au Japon

増田 真由美 Mayumi MASUDA : mayumi.masuda@atout-france.fr

Tel : +81 (0)3-5798-6297 / +81 (0)90-6039-6339

jp.france.fr | jp.media.france.fr

オクシタニー/地中海ピレネー地域圏

Région Occitanie / Pyrénées-Méditerranée :

マティルド・マッソン Mathilde MASSON: mathilde.masson@laregion.fr

Tel: +33 (0)4 67 22 86 46 / +33 (0)6 07 75